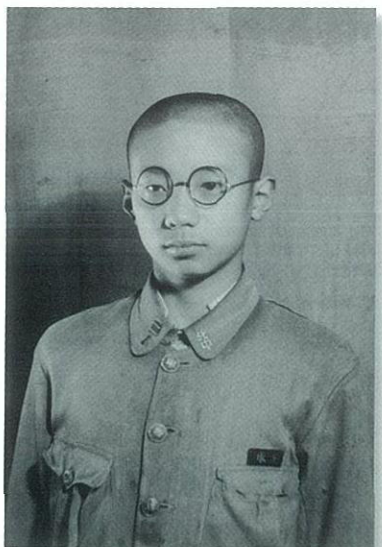


# 手塚治虫の 漫画の原点

戦争体験と  
描かれた戦争

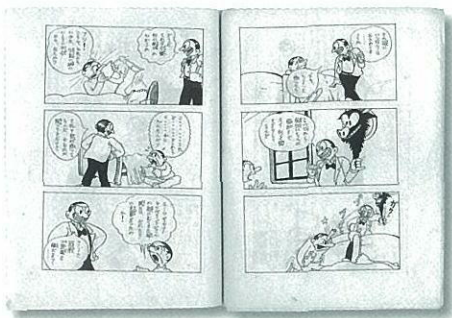
「鉄腕アトム」「ジャングル大帝」「リボンの騎士」「火の鳥」など数々の作品を生み出し、戦後日本の子どもたちを熱中させた漫画家・手塚治虫。昭和3年(1928)生まれの彼もまた、戦争体験者の一人でした。学徒動員として働きながら、死と隣り合わせの日々の中でも漫画への情熱を燃やし続け、終戦を知った時は漫画が自由に描ける時代が来た喜びを感じました。そして戦後、彼は、自らが体験した戦争、そして平和への思いを、様々な漫画にメッセージとして込めてきました。今回の展示では、手塚治虫の直筆原稿や本人の写真を中心に、当時の実物資料や写真なども展示いたします。戦後60年を過ぎた現在、手塚治虫が生涯を通じて、子どもたち、大人たちに伝えたかったメッセージを知る機会にさせていただくとともに、戦中・戦後という日本人が最も苦勞した時代をふりかえります。



北野中学(旧制中学)時代の手塚治虫  
(昭和16年~20年撮影)



「Insect Memo No.2」  
(昭和18年9月24日~20年7月4日)



私製本「オヤジの宝島」  
(昭和20年)



「低俗天使」  
週刊少年ジャンプ掲載  
(昭和50年)

©手塚プロダクション

講演会「手塚治虫と戦争体験」 ● 期日:平成19年3月21日(水) 14:00~16:00

● 講師:石子順(評論家) ● 会場:九段会館 孔雀の間(約70名)

【講師プロフィール】

漫画評論家、映画評論家。昭和10年京都市生まれ。昭和28年中国から帰国。東洋大学文学部卒。中国映画の字幕翻訳を経て、映画評論活動を始める。昭和42年に手塚治虫と出会い、漫画研究を始め、以後手塚氏と交流。前和光大学表現学部教授。著書に「手塚治虫 未来からの使者」(童心社)など。ちばてつや、森田泰次たちとの共著「中国からの引揚げ 少年たちの記憶」で第6回文化メディア芸術祭特別賞受賞。

GWスペシャル・子どもイベント「昔の遊びと紙芝居」「鉄腕アトムがやってくる!」

● 期日:平成19年5月3・4・5日(木・金・土) 10:00~15:00

- 親子で遊ぼう、昔の遊び (メンコ、けん玉、お手玉、おはじき、双六、かたぬき など)
- 昔懐かしい「あめ細工」実演 (限定数で、子どもたちに無料配付!)
- 梅田佳声さんによる紙芝居上演 (時間:11:00~、13:00~)
- 鉄腕アトムがやってくる! (握手会・撮影会/時間:10:00~、12:00~、14:00~)
- 昭和館クイズラリー (特製クリアファイルをプレゼント!)



● 問い合わせ先 昭和館学芸部 03-3222-2577